

令和7年度 第2回 神奈川県立舞岡高等学校  
学校運営協議会 議事録

《開催日時》

令和7年11月28日（金） 於 舞岡高等学校 多目的室 15：40～16：50

《出席者》

学校運営協議会委員（7名/敬称略）

明治学院大学文学部教職課程主任教授	石井 久雄
戸塚区役所保険年金課長	河合 利充
神奈川県立舞岡高等学校PTA会長	芹澤 順子
ひざり連合自治会長	宮島 由美子
横浜スポーツ&医療ウエルネス専門学校	松尾 信
横浜市立日限山中学校長	馬場 理人
神奈川県立舞岡高等学校長	宇田 雅則

舞岡高等学校（9名）

副校長	桐谷 鋼哉（司会進行）
教頭	清野 暁文
総括教諭（学習支援G）	遠藤 隆一
総括教諭（キャリア支援G）	大川 和裕
総括教諭（活動連携G）	松野 幸成
総括教諭（指導支援G）	小林 恒平
教諭（学校管理G）	中込 圭佑
教諭（広報・研究G）	林 明日佳
教諭（学校管理G）	鍋谷 敦子（記録）

《欠席者》（2名）

舞岡台自治会長	川上 浩
横浜市立南舞岡小学校長	地主 佐和子

・協議会前の6校時に授業見学あり。参加者：5名（敬称略）

1 校長あいさつ

再編統合について触れる。舞岡・金井両校とも完校。

2 協議

(1) 舞岡高等学校の教育活動について

ア 授業について

授業見学した参加委員より

- ・生徒が意欲的に取り組んでいる様子が見て取れた。
- ・臨機応変に対応していた。
- ・タブレットを使っただけの授業が興味深かった。
- ・3年の「自選」の授業では、より深く学びたいという生徒が一定数いることを知った。

## イ 令和7年度の学校目標（中間報告）及び検討課題

### [学習支援グループ]

- ・電子黒板使用により教員が板書する時間が減った分、生徒が主体的に考える時間に充てられるようになった。

### [指導支援グループ]

- ・最近、外部の方から生徒の自転車マナーについての電話が複数回あり、引き続き、指導やルールの遵守について徹底していきたい。

### [活動連携グループ]

- ・文化祭も盛況のうちに終わった。今後も体育祭、部活動等、活性化を進めたい。
- ・参加委員より花火打ち上げに関する質問があった。地域からの音についてのクレームがあり、今後は事前に近隣地域に周知するよう努めたい。

### [キャリア支援グループ]

- ・生徒各々の進路実現のため、キャリアパスポートを使っている。
- ・日々の勉強にスタディサプリの利用をすすめている。

### [広報・研究グループ]

- ・新たな取り組みとして「鎌倉パスタ」とのコラボを行った（資料：「神奈川県立舞岡高等学校×鎌倉パスタ！高校生考案のもちもち生パスタが戸塚モディで食べられる！」）。
- ・分教室との交流を進めていきたい。

### [学校管理グループ]

- ・12月に1、2年対象のDIG、PTA主催の芸術鑑賞会が予定されている。

### [質疑応答・ご意見・感想]

#### 【委員より】

南舞岡小学校と日限山小学校の統合に向けたイベントで花火を打ち上げたいというプランがある。文化祭での花火の様子はどうだったか。

#### 【学校より：活動連携グループ】

ご注意をいただいたこともあったが、概ね、毎年楽しみにしているという反応をいただいている。

#### 【委員より】

業務のデジタル化に採点システムが導入されるということであるが、その精度はどの程度なのか。

#### 【学校より：学習支援グループ】

記号や番号の読み取りは正確である。記述部分については正確に読み取れないと、エラーが出る場合がある。その際は、教員の目で採点を行っている。

### 3 部会打合せ

それぞれ地域連携部会・学校評価部会に分かれ、意見交換を行った。

#### 地域連携部会

##### 【委員より】

バレーボール部の南舞岡小学校との交流以外にも、舞岡地区センターやこども食堂等でのイベントに吹奏楽部やダンス部、フォークソング部、水泳部などが連携してくれており、自治体や地域の自治会としては大変ありがたい。

##### 【学校より】

各部活動では、メインの大会等に向けての練習予定もあるので、日程が合わない場合もあるが、可能な限り地域とコラボして参加できることは継続したい。

#### 学校評価部会

##### 【委員より】

バレーボール部の南舞岡小学校との交流や、戸塚モディと鎌倉パスタとのコラボでの生徒考案メニューの販売は生徒の自己有用感の伸ばす取組としてとてもよい。

##### 【学校より】

他にも大学、専門学校、中学校等とコラボしてできる取組があれば今後お知らせいただきたい。

##### 【委員より】

生徒の取組の励みとなるように「学校運営協議会大賞（仮題）」として表彰できる機会を新設してはどうか。候補をいくつか挙げてもらい、協議会で選考して表彰する。

##### 【学校より】

賞状を準備する表彰形式で考えてみたい。終業式等で生徒表彰の機会はある。

### 4 事務局から

(1) 今後の日程について連絡

第3回 2026年3月中旬頃予定

(2) 校長よりお礼の言葉

閉会